

しゅなん

議会だより

令和8年
(2026)

9・1

No. 95



新しい議会体制が決まりました。

6月定例会では、議長・副議長のほか、各委員会の構成などを決定しました。当市議会では、この一連の手続きを「議会人事」と呼び、毎年6月定例会において、今後1年間の議会体制を決定しています。議会人事の結果については、14～15ページをご覧ください。

写真は、本会議の様子です。この日は、8月6日から11日までボートレース徳山で開催されたプレミアムG1*第40回レディースチャンピオンのポロシャツを全員が着用し、レースのPRを行いました。

※プレミアムG1…最もグレードの高いSG(スペシャルグレード)の次に位置するG1レースの中でも、特に格が高いとされるレース。

TOPICS

- ・定例会の概要 ————— 2
- ・議案の議決結果 ————— 4
- ・賛否が分かれた議案 ————— 4
- ・一般質問 ————— 5
- ・委員会レポート ————— 11
- ・新しい議会体制 ————— 14
- ・市議会からのお知らせ ——— 16



定例会の

可決
(賛成多数)

一般会計補正予算(第1号)

6月定例会

※補正予算に計上された経費について、抜粋して掲載しています。

◆小学校給食費相当額補助金

令和8年度からの小学校給食費無償化に伴い、給食費の負担がなくなった保護者との公平性を図る観点から、アレルギーその他疾患などにより、年間を通して学校給食を食べることができず弁当を持参している児童の保護者に対し、給食費相当額を補助するため、63万1千円を補正するものです。

予算決算委員会での審査

問 不登校児童も対象に含まれるのか。また、宗教上の理由で給食を食べられない児童はどうか。

答 補助金の対象は、医師の診断などによりアレルギーその他疾患で年間を通じて給食を食べられない児童としており、不登校児童は対象外となるが、今後、国の方向性などを踏まえ研究していきたい。また、宗教上の理由については、どのような宗教で給食を食べられないのか判断が難しいため、対象外としている。

◆周南緑地体育施設等整備管理運営事業費

ゼオンアリーナ周南の電動式移動観覧席、いわゆるロールバックを修繕するための予算1,450万円を計上するものです。

予算決算委員会での審査

問 なぜ当初予算に計上しなかったのか。当初予算に計上するための計画的な管理はもとより、施設全体の老朽化の状況に鑑み、指定管理者が対応困難な部分については、市が直接点検し、整備を行う必要があるのではないか。

答 ロールバックについては、法令で定期点検の実施が義務付けられていないものの、指定管理者が日常点検や動作確認などの目視点検を行ってきた。令和5年には、一部不具合が生じていることが判明し、応急処置を施して対応したが、令和8年3月に実施した詳細な点検で主要部品が破断寸前であることが判明し、全面的な交換が必要と判断されたため、当初予算ではなく補正予算として計上した。市民に

不利益が及ばないように、点検などの実施について、今後は指定管理者と連携して進めていく。

委員会での討論

賛成討論

◆基本的に指定管理者と市の関係、いわゆる施設の管理体制がしっかりと行われているのだろうかというのが非常に気になった案件である。令和5年に応急処置をしたという状況があったならば、そのときに対応すべきであり、こうした案件については当初予算で組むべきであると考え、あえて苦言を呈した中で賛成する。

委員会審査結果

賛成多数で可決

可決
(全会一致)

工事請負契約の締結 (古川跨線橋整備工事)

6月定例会

本議案は、線路北側に位置し、線路上空にかかるトラス橋と県道下松新南陽線、川手交差点をつなぐ道路と、線路南側に位置し、線路上空にかかるトラス橋と県道徳山新南陽線、野村3丁目交差点をつなぐ道路について、コンクリート橋の設置とそれを支える土台の構築、交差点までのスロープとなるコンクリート擁壁を設置する工事で、広成建設・共同産業特定建設工事共同企業体および共同産業・有紀土木工業特定建設工事共同企業体と契約しようとするものです。

環境建設委員会での審査

問 着工前の跨線橋は北側と南側に駐車場があったが、これまでどおり駐車場はあるのか。ないとしたら、これまでの駐車場の利用者に説明は行ったのか。

答 今回駐車場はないため、これまで利用されていた方には今後駐車場が使えなくなる旨の説明を行った。

問 この工事で全ての工事が終わるのか。最終的な供用開始時期はいつになるのか。

答 この工事のほか、全幅の舗装や各交差点の改良工事を今後実施する予定である。これらについては、今回の工事の施工途中に着工し、工事の進み具合を

概要

第2回定例会を6月1日から24日までの24日間開催し、一般会計の補正予算、条例の一部改正などの市長提出議案25件、委員会提出議案1件を審議しました。

見ながら同時に進めていきたいと考えている。供用開始については、令和11年3月末までの開通を目指している。

委員会審査結果 全会一致で可決



工事中の古川跨線橋

可決
(全会一致)

コミュニティバスの運行に関する条例の改正

6月定例会

本議案は、コミュニティバスの運行路線に大向須々万線を追加するため、所要の改正を行うものです。

環境建設委員会での審査

問 令和7年7月から9月まで実証運行を行ったとのことだが、その実績は。

答 3カ月の実証運行期間のうち32日間運行し、1日当たりの平均利用者数が7月は6.3人だったが、9月には7.2人まで増加した。また、アンケートを行った結果、今後地域住民の高齢化が進むとコミュニティバスが必要になるため期待しているなど、肯定的な意見も頂いた。

委員会審査結果 全会一致で可決

可決
(賛成多数)

公有水面の埋立ての承認

6月定例会

本議案は、徳山下松港の港湾管理者である山口県知事より、臨海町の岸壁を延長するための埋め立てについて諮問があったため、異議がないことを答申することについて、議会の議決を求めるものです。

委員会での討論

反対討論

◆石炭を運ぶのが主な目的で、その石炭は火力発電に使うとのことだが、気候危機が叫ばれている今、火力発電に反対する立場であるため、この議案に反対する。

賛成討論

◆石炭を輸入するための岸壁の延長について、カーボンニュートラルを目指せば、いずれは石炭ではなくアンモニアを燃料として輸入すると考える。そうすると、さらに大きな受け入れ施設が必要であり、これは今の段階で必ず整備しておかなければならない設備であると考えため、賛成する。

委員会審査結果 賛成多数で可決



埋め立て予定地で説明を受ける様子

可決
(全会一致)

消防団員等公務災害補償条例の改正

6月定例会

本議案は、非常勤消防団員などに係る損害補償の基準を定める政令において、葬祭補償の額が改定されたため、所要の改正を行うものです。

企画総務委員会での審査

問 補償の対象となる公務の範囲は。

答 非常勤の消防団員が公務によって損害を被った場合や、市民が消防作業などに協力・従事したことによって損害を被った場合が想定される。具体例としては、火災現場付近にいた応急消火義務者が行う応急消火に協力した場合や、消防吏員などから要請を受けて火災現場付近で行った消防作業、さらには救急業務への協力が挙げられる。

委員会審査結果 全会一致で可決

Ⅱ 全会一致で可決 Ⅱ

補正予算

- ・令和8年度一般会計補正予算（第2号）

条例改正など

《人事案件》

- ・公平委員会委員の選任／教育委員会委員の任命／固定資産評価員の選任／農業委員会委員の任命／監査委員の選任

《条例の制定》

- ・北部拠点施設条例

《条例の一部改正》

- ・市税条例についての専決処分／アメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する軽自動車税の種別割の賦課徴収の特例に関する条例についての専決処分／旅費条例／印鑑条例／地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例／自転車等駐車場条例／コミュニティバスの運行に関する条例／特殊勤務手当支給条例／消防団員等公務災害補償条例

《その他》

- ・権利の放棄／市道の認定及び廃止／動産の買入れ（（仮称）徳山北部拠点施設什器等物品）／工事請負契約の締結（鹿野観光交流拠点施設建築主体工事、古川跨線橋整備工事（第6工区、第7工区））

委員会提出議案

- ・周南市議会委員会条例の一部改正

Ⅱ 賛成多数で可決 Ⅱ

補正予算

- ・令和8年度一般会計補正予算（第1号）

条例改正など

《条例の一部改正》

- ・市税条例

《その他》

- ・公有水面の埋立ての承認

議会への報告

書類提出：出資法人の経営状況（周南公立大学、ふるさと振興財団、文化振興財団、かの高原開発、医療公社、周南地域地場産業振興センター、徳山青果精算、徳山地区漁業振興基金）

報 告：損害賠償の額を定めることに関する専決処分（3件）／令和7年度一般会計繰越明許費繰越計算書／令和7年度一般会計事故繰越し繰越計算書／令和7年度水道事業会計予算繰越計算書／令和7年度下水道事業会計予算繰越計算書

議会報告：例月現金出納検査の結果（3件）／定期監査結果（3件）／議員の表彰

賛否が分かれた議案

○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わりません。

※会派は6月16日採決時点の会派

会派名		志高会（7人）							自由民主党周南（6人）				公明党（4人）				未来ラボ（4人）				輝（3人）			福の会（2人）		日根院（2人）				
議 案	議 員 名 (50 音順)	岩田 淳司	古賀 洋子	土屋 晴巳	服部 恭弥	福田 健吾	藤井 康弘	吉安 新太	青木 義雄	有田 力	小林 正樹	篠田裕二郎	友田 秀明	古谷 幸男	江崎加代子	遠藤 伸一	金子 優子	小池 一正	井本 義朗	佐々木照彦	貞本 昌也	山本 真吾	河井美和子	福田 文治	細田 憲司	小林 雄二	西尾 孝夫	藤井 直子	渡辺 君枝	島津 幸男
議案第 54 号 令和 8 年度周南市一般 会計補正予算（第 1 号）		○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
議案第 56 号 周南市市税条例の一部を改 正する条例制定について		○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
議案第 63 号 公有水面の埋立ての承認 について		○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○

一般質問



趣旨

一般質問とは、市長などの執行機関に対して、市政全般の考え方や方針を問うものです。（正副議長および監査委員は、申し合わせにより、一般質問を行わないこととしています。）
※会派名は、6月定例会一般質問時のものです。
新しい会派構成は、15ページに掲載しています。

県立高校の再編整備に伴う 本市の対応について

自由民主党周南

ともた ひであき
友田 秀明



問 新南陽高校と南陽工業高校の統合までに福川駅舎のトイレを含む改修と産業道路側への新改札口の新設を提案するが、いかがか。

答 駅舎やトイレ、自由通路、北口広場および駐輪場などの一体整備と併せて南口改札の設置についても JR 西日本と協議していく。

問 新南陽高校の廃校は富田地区にとって強烈なダメージになる。県の統廃合基準外なので再編はおかしい。存続への運動が必要だが、県が廃校にしたときの対応策として周南公立大学付属高校という形で存続できないか。また、周南公立大学永源山キャンパスの設置や高大一貫校として大学 1 年生の教養課程を併設することも考えられると思うが、新南陽高校の存続を市としてどう考えているのか。

答 子供たちが安心して学べることが第一である。市や市民、学生に不利益がないように、きちんと県に伝えていく。

周南公立大学のキャンパス 整備計画について

志高会 はっとり たかひろ
服部 恭弥



問 周南公立大学が地域に根差した知の拠点となるためには、現在の学園台への集約方針は不十分であり、公立大学としての可能性を狭めていると危惧している。市民や企業と交流しやすいまちなか拠点や分散配置も含め、幅広く検討すべきと考える。新学長も市民に見える大学や対話の場の重要性を述べており、また経済界からも経済効果を示しまちなか拠点の要望が出ている。大学の将来像を示す施設整備マスタープランが未策定の中、なぜ学園台ありきで整備方針を決定したのか伺う。加えて、計画策定が遅れている理由と催促はしたのか、また経済界や大学側の意見を踏まえ整備方針を見直す考えはあるのか伺う。

答 マスタープランは今後の大学の持続的な発展を考える上で重要な計画と捉え、市と大学で協議中であり、学園台整備を基本に検討する。

カスタマーハラスメント対策 義務化への対応は

市民の会 にしお たかお
西尾 孝夫



問 一昨年 9 月にも伺った、職員へのカスタハラに関する実態調査などの対応状況は。

答 昨年 2 月に職員アンケートを実施した。本年 3 月には対応マニュアルを策定し、現在運用中であり、1 年経過後に検証を行う予定である。また、小中学校教職員については、県ガイドラインにのっとって対応している。

問 録音機能付き電話機を導入してはどうか。

答 現在、導入を検討している。本庁舎における導入費用は、電話機 629 台が約 1,500 万円、維持費が年間約 170 万円である。

問 10 月から対策が義務化されるが、市民、特にウェブを見ない世代への周知方法は。

答 市ホームページやリーフレット、出前トークなどを活用し、周知・啓発に努める。

その他の質問

●部活動および地域クラブ活動に係る生徒の移動について

インフラマネジメント事業 の推進について

公明党

こ いけ かずまさ
小池 一正



問 街路樹管理の取り組みは。

答 街路樹のうち大木化などで歩道が狭い路線や信号・標識の視認性を阻害しているもの、老木化で倒木リスクの高いものは撤去し、歩行者などの安全性を確保するとともに、維持管理経費の負担が大きい路線では、成長が遅く落ち葉量が少ない樹種への植え替えを行う。

問 街路樹の価値を市民と共有するためにも、前述の取り組みを図や写真で情報公開「見える化」し、市民の理解を深めてはどうか。

答 剪定作業で通行に支障がある場合は近隣住民へ周知し、伐採時は樹木に看板を掲示して知らせている。今後も地域への周知を適宜行い、計画的撤去や植え替え時には、市ホームページ掲載などで市民理解の向上に努める。

その他の質問

●障害者就労施設等からの物品等の優先調達について

先端技術を活用した 下水道の維持管理を

公明党

えんどう しんいち
遠藤 伸一



問 人工衛星やAIを活用した効率的な漏水・破損調査技術が急速に進展している。こうした先端技術を下水道の維持管理に導入してはどうか。

答 近年、人工衛星による広範囲の観測データやAIの解析画像などを活用し、道路陥没の予兆などを効率的に把握する技術が急速に進展している。下水道分野においてもドローンや走行型カメラによる点検、AIを活用した管路内画像の自動解析など維持管理の高度化につながる技術開発が進められている。これらの先端技術が直ちに従来の現地調査や詳細な点検に取って代わるものではないが、従来の手法と適切に組み合わせることで最大の効果が発揮されるものと期待している。今後、先端技術の導入も積極的に検討し、予防保全型の下水道管理体制の構築を目指していく。

幼児教育と保育の利用料、 保護者負担の差、解消を

未来ラボ

さ さ き てるひこ
佐々木照彦



問 幼児教育・保育に係る利用料について、第1子は1号認定の場合、入園できる時期に合わせて満3歳から無償化となるが、2号認定および3号認定の場合、満3歳になった後の4月1日から無償化となる。幼児教育と保育で利用料の無償化開始時期が異なり、保護者の負担に差が生じている。負担の差を埋めるため、市として支援する考えはないか。

答 満3歳でも認定区分により無償化の時期が異なり保護者負担の差が生じている状況は国の制度設計上の課題だと認識している。無償化開始時期の差は公平性や分かりやすさの観点から国で検討されるべきものとする。保護者負担の差を解消する新たな施策の予定はないが、国や県の動向などを注視しながら、必要な子育て支援策について研究を続ける。

その他の質問

●地方公務員の兼業について

公共施設のトイレ洋式化・ 暖房便座の整備について

未来ラボ

さだもと まさや
貞本 昌也



問 高齢者が公共施設のトイレを利用する場合、和式では転倒の危険があり、洋式であっても冷たい便座ではヒートショックを招く危険がある。この点をどう考えているか。

答 基本的には、設備の改修などの際には、洋式トイレ・温水洗浄便座を整備したいと考えている。市民のニーズを可能な限り反映できるように、しっかり考えていきたい。

問 鹿野地区のふれあい広場のトイレは男女ともに和式である。利用状況などを踏まえ、洋式化と暖房便座の整備をすべきと考えるが、市の見解は。

答 隣接する鹿野総合体育館の女子トイレには暖房機能付き洋式トイレを3基整備した。今後も不便が続くようであれば検討したい。

その他の質問

●ふるさと住民登録制度の検討について

救命救助業務の充実に向けて

志高会

つちや はるみ
土屋 晴巳



問 令和7年度にマイナ保険証を活用した救急業務であるマイナ救急実証事業に参加し、本年度から本格運用しているが、活用件数は。また、効果および課題は。

答 実証事業期間を含め4月末までに187件の活用があった。救急活動の高度化に資すると認識しており、現状、大きな課題はない。

問 令和7年10月から徳山中央病院と連携して救急車医師同乗システム(ドクターカー)が運用されているが、出動件数は。また、当システムの導入以前と比して改善した点は。

答 試行的運用期間を含め4月末までに91件の出動があった。これにより、緊急性や重症度の高い傷病者に対して迅速な医療処置を行うことができた。また、救急現場で医師から救急救命士に対して直接指導することで、医療スキルの評価・検証の精度が高くなり、より一層、教育指導体制の充実が図られた。

道の駅ソレーネ周南の リニューアルでさらなる発展を

公明党

かね こ ゆう こ
金子 優子



問 新たな管理運営者の選定は。

答 令和9年夏ごろの選定を考えている。

問 テナントや従業員の処遇の確保は。

答 さらなる進化を図れる体制となるよう雇用の確保を前提に協議を行っていく。

問 屋内の子供の遊び場の遊具は。

答 対象を乳幼児から小学校低学年までとし、学びにもつながるものと考えている。

問 農産物などの今後の充実は。

答 市外からの集荷も強化しており、今後も商品の充実に努めていく。

問 利用しやすい道の駅への配慮は。

答 リニューアルで物販施設を拡張し、商品の充実を図り、地域の生活を支える。

問 観光ハブ拠点として、県内観光地との連携強化を進めてはどうか。

答 観光情報の発信を強化し、県内外の道の駅や観光地との連携の取り組みを推進する。

文化会館から動物園までの 市道の道路改良について

自由民主党周南

こばやし なおき
小林 正樹



問 文化会館から動物園に延びる市道乗兼阿弥陀線の道路改良について、令和8年度は実施設計を進める状況にある。地元から危険性を指摘する声が多い市道と認識しているが、安全対策は進むのか。

答 周辺の住民にとって重要な生活道路であり、調査の結果、車道空間と歩道空間の双方を改善することが地域の安全性と円滑な交通確保に不可欠であると判断した。また文化会館出口交差点については、一方向に周回するラウンドアバウト方式へ改良することで、複雑な交差形態を解消したいと考えている。

問 文化会館大規模改修後の再オープン予定の令和11年4月ごろに間に合うのか。

答 出口交差点の工事完了はそこを目指す。

その他の質問

- 園児の外遊びにおける日陰づくり推進を
- 景観計画の改定について

市営住宅の同居親族要件の 廃止に伴う効果について

公明党

えさき かよこ
江崎加代子



問 市営住宅の同居親族要件の廃止により、60歳未満の若年単身者も全ての市営住宅の募集に申し込めるようになったが、その効果は。また、入居の優先度や承継の考え方についての変更はあるのか。

答 本市では、若年単身世帯を含む単身世帯が増加傾向にあり、幅広い世代が申し込めるよう入居制度の拡充を行った。単身世帯の生活基盤を支え、空き室の解消にもつながるものと考えている。また、今回の制度改正により、入居決定の優先的な取り扱いの基準や承継のルールが変わることはない。

問 大学生の申し込みについての考え方は。

答 若年単身者には、大学生も含まれるが課題もあり、現在は認めていない。将来的には法令の範囲内で、学生の単身入居に関する運用を行えるよう検討を進める。

周南市地域クラブの支援策を見直し、改善すべき

自由民主党周南

ふるたに ゆき お
古谷 幸男



問 周南市地域クラブの中学生のみ（指導者は含む）の登録団体数は。

答 5月末現在、両サポートセンターに登録している167団体のうち、35団体である。

問 中学生のみの登録団体と、地域で大人がつくった団体に中学生が入った団体が同じ支援策ということを見直すべきではないか。

答 始まったばかりでこれからさまざまな問題が出てくる。今後現場の声を聞き検討する。

問 指導者、保護者、子供たちの声を十分に聞き改善をしてもらいたい。周南市独自の方策を作るべきではないか。

答 しっかり調査し、現場の声、子供たちの声を聞き検討する。

その他の質問

- 周南公立大学の運営について
- 敬老の日の取り組みについて

コンビナート等再生型GX戦略地域への選定について

市民の会

こばやし ゆう じ
小林 雄二



問 昨年9月、GX戦略地域の選定を目指し、市として積極的に関わっていくと表明し、本年4月、山口県がコンビナート等再生型GX戦略地域（宇部・山陽小野田、周南、岩国・大竹）の「有望地域」に選定されたとの朗報に大変期待している。本市におけるGX戦略地域の姿はどのようなものになるのか。

答 国が推進するGX戦略は脱炭素、経済成長、エネルギー安定供給を目指すもので、山口県ではGX戦略地域推進コンソーシアムと共同で県内3つのコンビナートの取り組みを申請し、有望地域として一次審査を通過した。周南コンビナートの産業競争力の維持・強化とカーボンニュートラルの実現、地域活性化と雇用の確保の重要な契機になると考える。

その他の質問

- 地域脱炭素ロードマップについて
- 幼稚園における学校給食との連携について

コアラ導入には哲学の共有が必要だ

自由民主党周南

あお き よし お
青木 義雄



問 コアラが日本に一斉に導入された約40年前と今とで決定的に違うのは、地球規模の課題があることだ。地球温暖化、気候変動、異常気象、頻発する想定外の災害、もはやこの星は病んでいる、疲弊していると言っても過言ではない。コアラは人間よりも早くこの星に誕生し、独自の道を選んで進化し、今を生きている種類の生き物である。今や人間の手によって絶滅寸前である。コアラを守ることは広大な大地を守ることであり、それはこの星を守ることである。この星の命あるものの最大の脅威は人間である。この星のかけがえのないあらゆる命と共存・共栄していくことこそ進むべき道であり、それを示す存在がコアラである。コアラを導入する意味に哲学を持ち、共有することが重要ではないか。

答 課題が出て見定めていく中で、総合的な判断をしていく。

周南市立新南陽市民病院の運営について

輝

かわい み わ こ
河井美和子



問 本病院の現在の経営状況の分析は。

答 物価高騰の影響などにより経費が増加傾向にある中、医業費用が医業収益を大きく上回り、留保資金の減少が大きくなっている。

問 経営基盤安定化に向けての取り組みは。

答 1月に糖尿病センターを開設し、4月には診療科目追加などの取り組みを進めた。今後も本病院の強みを広く市民に提供していく。

問 総務省の示す公的病院に対する特別交付税措置を活用してはどうか。

答 不採算地区中核病院第2種の特別交付税措置の要件を満たすことができるため、現在、積極的な活用を検討を進めている。

問 民間の介護老人保健施設などの閉所が続く今、医療・介護の相談窓口として地域と病院をつなぐ役割を強化してはどうか。

答 連携の力で支える医療という考えの下、地域包括ケアシステムの一翼を担っていく。

今後の公共施設の総合管理

について

志高会

いわた じゅんじ
岩田 淳司



問 このたび周南市公共施設再配置計画は10年見直しのタイミングであり、令和8年度に改訂の予定である。この改訂において、本市の財政状況管理の観点から、周南公立大学で今後示されるであろう大学の施設整備マスタープランを本計画にひも付けて考えていく必要があるのではないかと。また、これまでの計画では掲載のなかった民間からの借地や借用施設は本計画への掲載が必要ではないかと。

答 大学の財産や負債については、市としては一部事務組合設置施設などと同様にその他施設として状況を把握する一方で、その施設マネジメントは大学で主体的に行われるものである。また、民間からの借地や借用状況は、行政サービス提供の上で重要な情報であることから、計画に掲載する必要がある。総合的・計画的なマネジメント推進の観点から、今後分かりやすい施設情報の整理を検討する。

周南公立大学卒業生の地域

定着と若者政策について

志高会

こが ようこ
古賀 洋子



問 周南公立大学卒業生の就職状況と地域定着の現状をどのように調査分析しているか。

答 令和7年度の卒業生は市内就職が37人（13.6%）であり、市内就職が増えてきているとはいえ、依然として多くの人材が市内に留まらないという現状がある。学生本人の思考や希望職種に加え、市内企業数や業種構成、生活環境など複数の要因が重なり合っているものと認識している。

問 公立化により公費を投入してきたが、その成果は。

答 令和6年度、市が大学に支出した主なものとして、運営費交付金、国の修学支援新制度に係る授業料等減免費交付金、施設整備事業の施設整備費補助金がある（合計8億8,871万4,853円）。このうち、施設整備費補助金の財源は周南公立大学整備等基金であり、一般財源は使用していない。

中学校給食費の無償化を

日本共産党

ふじい なおこ
藤井 直子



問 県内他市の状況は。

答 13市のうち、6市が無償化、本市を含む7市が一部補助をしている。

問 一部補助の金額を増やす考えはないか。

答 今年度も給食費を見直す予定だが、その際には検討していく必要がある。

問 無償化した場合、市の負担は年間幾ら増えるか。

答 およそ2億円の増加となる。

問 本市には何にでも使える財政調整基金が34億円ある。それを使えば無償化できるのではないかと。

答 国が速やかに無償化を実現するという意向を示しているので、国の意向を注視しながら検討していきたい。

その他の質問

- 加齢性難聴高齢者への支援について
- LED照明器具購入補助金の創設について

入管法改正について

日本共産党

わたなべ きみえ
渡辺 君枝



問 5月29日、改正入管法が可決・成立した。これにより、在留資格変更許可手続きや在留期間更新許可手続きの手数料が現行の6千円から上限10万円に、また、永住許可手続きの手数料が現行の1万円から上限30万円に引き上げられる。働いている外国人も経営者も困る入管法が成立した。岩徳線を通う外国人、ベトナムの国旗を掲げて外で楽しそうに焼き肉をしている人たちはどうなるのかと気になり質問するが、在留外国人を雇用している事業所やその従業員から不安の声は聞いていないか。

答 法改正について直接相談を受けた事例はないが、問い合わせがあれば、出入国在留管理局などの関係機関の相談窓口を案内する。

その他の質問

- ひょうによる果樹への被害について
- ナフサの供給不安について

4,751 人が県の移住者数で 周南市への移住者は何人か

自由民主党周南

ありた
有田

ちから
力



問 令和 7 年の山口県への移住者数は 4,751 人で過去最高と発表された。宇部市が 1,272 人、山口市が 829 人であった。本市への移住者数はどのようにになっているのか。

答 令和 5 年度が 16 人、令和 6 年度が 19 人、令和 7 年度が 23 人となっている。

問 宮崎県都城市は国や県の移住支援制度を大きく拡張し、令和 5 年度に 3,710 人、令和 6 年度に 2,256 人、令和 7 年度に 1,713 人の移住者を呼んだ。市長は累計移住世帯数を令和 11 年度までに 75 世帯から 141 世帯に増加させると答弁したが、それ以上のことを期待したい。何か考えはあるか。

答 周南市を選んでもらえるよう全庁を挙げてしっかりと取り組んでいきたい。

その他の質問

- 自転車の利用について
- 野球場の現状について

市民への配慮を欠いた くらし応援給付金について

輝

ほそだ
細田

けんじ
憲司



問 申請手続きのため、どれだけの市民が庁舎に押し寄せたのか。

答 1 日当たり約 500 人が来庁した。

問 現金給付は郵送が前提だが、返信用封筒が入っていないのは不親切ではないか。

答 電話があれば申請書などを郵送する。

問 実際に電話する市民は少ない。切手や封筒代、交通費を負担させ、長い待ち時間を強いた上、分かりにくい書類で高齢者を不安にさせたが、市民に負担をかけた認識はあるか。

答 電話などは申し訳ないが、市民に時間的負担をかけることについては理解を求めたい。

問 なぜ申請不要のプッシュ型にできなかったのか。次回は分かりやすく簡素化しては。

答 今後は今回の経験も踏まえ、市民により分かりやすく負担の少ない手法を研究する。

その他の質問

- 人口減少の今、文化小ホール新設は妥当か

ボートレース事業について

志高会

よしやす
吉安

しんた
新太



問 グレードレースの開会式に夜通し並ぶファンの安全のため、席を抽選にしてはどうか。

答 現在、抽選にすることも検討している。

問 公式 YouTube を収益化すべきでは。

答 他場も参考に研究したい。

問 ライブ配信業務について、昨年度までの過去 3 回のプロポーザルで選定された業者は。

答 いずれも株式会社アップロードである。

問 受託業者と下請け業者とのトラブルが生じた場合の対応は。

答 契約の履行を確保するため、ヒアリングなどで実情を把握した上で適切に対応したい。

問 企画提案書はどこまで順守すべきか。

答 内容が大きく変わらず、より充実するのであれば、若干の変更は問題ない。

問 本年度から受託業者が noppo に替わったのを機に配信内容を変えてはどうか。

答 視聴者を引き付ける企画を考えたい。

全国トップクラスの産業力 をエンジンに広域行政を

しまづ
島津

ゆきお
幸男



問 市の財政、特に将来負担比率は周南市と同規模の 29 市のうち 26 位と最低レベルであり、危惧している。今後、固定費の増加に加え、文化会館大規模改修などの大規模事業の費用が上乗せされるが、その対策を問う。

答 将来の財政運営を圧迫しないように補助金や基金などを有効活用し、財政負担の平準化に努める。

問 貯金にあたる財政調整基金が急落しているが、問題はないか。

答 40 億円を目安に、財政計画を進めたい。

問 全国トップレベルの産業力をエンジンに、ヒト（下松市、光市を視野に周南公立大学カレッジ化）、モノ（栄谷トンネル、水深 30 メートルの笠戸・杵島の世界一の良港）の有機的な連携で力強いまちづくりを。

答 周辺地域との連携強化を図り、将来世代に責任あるまちづくりをしたい。

委員会レポート

常任委員会が調査を行ったものや特別委員会での協議内容を報告します！

周南市市民館跡地の施設建設計画に関する調査特別委員会

市民館跡地エリア整備基本計画および有識者検討会議について

5月7日と5月18日に開催した委員会で、執行部から説明を受けました。

◆ 企画部企画課の説明（要旨） ◆

市が整備する施設の概要については、以下のとおりである。

●文化小ホール部門

300席から500席の固定席のホール、楽屋など

●創造活動部門

練習室やリハーサル室、会議室など

●保健センター・子育て支援部門

子育て交流スペース、調理室、相談室など

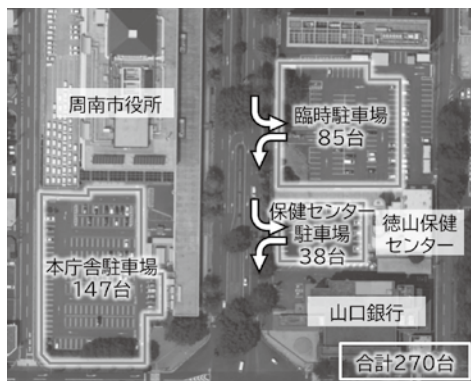
●交流促進部門

ギャラリースペース、飲食スペースなど

●駐車場

現在の本庁舎駐車場 147 台と新たに整備予定の立体駐車場 155 台を合わせ、302 台を確保する予定である。

また、以下の写真のとおり、新たな駐車場の進入と退出の経路については、進入路は岐山通りからとし、退路は岐山通りおよびその反対側の市道児玉町線への2方向としたいと考えている。



駐車場の整備イメージ

これらの施設のほか、山口銀行徳山支店や国の周南地方合同庁舎も整備される予定である。

また、第2回有識者検討会議では次のような意見を頂いた。

- ・学生ワークショップは、できるだけいろいろな学生の意見を聞いてほしい。
- ・文化小ホールの客席数について、400席から500席に絞ってはどうか。
- ・舞台は主に日常で利用できるものとし、学生や生徒がホールを使って発表する機会を増やしてほしい。
- ・施設の配置について、児玉公園との連動性を重視し、空間の美しさを保ってほしい。
- ・保健センターの先行解体を検討してほしい。
- ・山口銀行側で何ができるかを検討してほしい。

問 交流促進部門の中で検討している飲食スペースについて、どのような施設を整備することを考えているのか。

答 飲食スペースは、市民アンケートなどでも非常に高いニーズがあることが分かっている。詳細は今後検討するが、利用者が自由に時間を過ごし交流を深めるための飲食が可能な空間が必要と考えている。

問 立体駐車場は何階建てを想定しているのか。また、施設につながる連絡通路を造るのか。

答 現時点で3層4段、つまり3階建ての立体駐車場を想定している。また、連絡通路の建設については次の設計段階の話となるが、利便性について配慮したい。

問 職員が今よりも効率的に業務に従事するため、また、より多くの市民が利用できるようにするため、会議室を増やすことを検討してはどうか。

答 現在、本庁舎などで会議室が不足し、利用が難しくなっている点などをしっかり把握した上で、整備を進めたい。

5月18日に開催した委員会で、執行部から説明を受けました。

◆ こども未来部こども保育課の説明(要旨) ◆

認可保育園「memorytree 周南保育園」において、保育士の確保が著しく困難な状況となり、令和8年5月より当面の間、0歳児クラスを休止することとなったため、該当する0歳児6名について転園などの調整を行った。1歳児クラス以上については5月以降も運営を継続している。事業者による保護者への説明会は2回開催されており、市としても0歳児の転園相談会を実施した。

5月より新たな園長が着任するとともに、多様な手段による人材確保に努めており、併せて、事業者本部による定期的な訪問や助言・指導が行われるなど、子供たちが引き続き安心して通園できる環境づくりが進められている。

市としては、4月以降、こども保育課の職員が定期的に園を訪問し、保育状況や職員の様子を確認するなど、保育士および園運営のサポートを行っている。

問 保育士何名中、何名が退職したのか。また、退職の理由は。

答 保育士13名中、7名が退職した。退職理由については、引っ越しや転勤、結婚、職場になじまなかったといったことなどを聞いている。

問 説明会の中で、3年間で30名の保育士が退職したとの話があったが、市として早く手を打てなかったのか。

答 数字的な部分はある程度把握していたが、状況の改善に向けた取り組みが足りなかったものと認識している。今後は定期的な状況把握に努め、改善に向けた取り組みをしっかりと行っていきたい。

問 今回の事態の発端は、法人の経営上の問題なのか、それとも園の運営上の問題なのか。

答 今回の事態は園の運営上の問題だが、それを事

業者本部が十分に把握できていなかったというところはある。今後は当面の間、市としても本部や園とコミュニケーションをしっかりと取りながら、運営を軌道に乗せるための支援をしていきたい。

問 今後も民間の保育園において今回のような事態は起こり得ると思うが、あくまでも園の責任なのか。

答 運営自体は民間企業が実施しているが、保育を委託しているという意味で、最終的な責任は市にあると考えている。今後、市としては、他の施設も含め、園の状況について書面で報告を求めたり、事業者との協議の回数を増やしたりするなど、これまでよりも踏み込んだ関わり方を研究し、保育体制の充実に向けて取り組んでいきたい。

6月11日に開催した委員会で、執行部から説明を受けました。

◆ こども未来部こども保育課の説明(要旨) ◆

第二保育園・尚白保育園については、施設の老朽化などの課題を踏まえ、2つの園を集約した上で、第二保育園用地に新たな公立保育園の整備を行うこととしている。このため、第二保育園は令和6年度末をもって廃園とし、第二保育園の園児は尚白保育園において引き続き保育を行うこととした。

令和9年4月1日の新施設開園に向け、第二保育園の園舎解体および新施設の整備を進めてきたが、建築主体工事におけるくい工事について、くいを打ち

付ける支持地盤が一部想定よりも深い箇所にあることが判明したため、支持層の確認およびくいの再製作に約1カ月半を要することとなり、結果として、当初は令和9年3月7日までとしていた工期の延長が見込まれる状況となった。

また、中東情勢の影響による建築資材の納入の遅れなどにより、さらなる工期延長が懸念されており、新施設の開園時期については、令和9年7月以降になるものと考えている。

問 工期延長の原因となったくい工事の詳細は。また、今後こうした事態が起こらないようにどのような対応を行うのか。

答 第二保育園用地については、設計前に行う地質

調査により支持層を想定し、くいの種類や長さなどを決定している。工事に当たり、試験くいを打設した際、部分的に支持層の起伏が激しい箇所が見受けられ、それに合わせて新たなくい

を製作する必要が生じたため、工期が延伸される見込みとなった。また、事前に地質調査を行っているが、地中のことであり、設計段階で絶対にくいの変更がないとは言えないのが実情である。

問 現在、尚白保育園に通っている園児と新施設の定員はそれぞれ何名か。また、新施設の開園遅

れによる園児の受け入れ対応への影響は。

答 現在、尚白保育園には 96 名の園児が在籍しているが、新施設の定員は 100 名を予定しているため、そのまま新施設に転園することができる。また、新施設の開園が令和 9 年 4 月から 7 月以降にずれ込むこととなったが、その間、尚白保育園への通園は継続することが可能である。

企画総務委員会

公共施設再配置計画の10年見直しにおける中間報告について

6月11日に開催した委員会で、執行部から説明を受けました。

◆ 総務部施設マネジメント課の説明(要旨) ◆

本市では平成 27 年に公共施設再配置計画を策定し、令和 4 年に一部改訂、令和 7 年度からは計画の 10 年見直しを進めている。

改訂後の計画では、計画名称を公共施設等総合管理計画に改めるとともに、財政負担の縮減と平準化、施設の安全性確保、人口動態や災害対応、脱炭素社会への対応などを役割と位置付けている。

令和 7 年度の改訂作業では、施設状態や人口推移のデータ更新、現計画における実施状況を検証し、課題を抽出したほか、市民アンケートによる意向把握を実施した。アンケート調査結果では、老朽化や財政的制約の認知度は約 6 割に上っており、約 7 割

が公共施設の再配置推進に肯定的であった。

延べ床面積については、20 年間で 13.2%削減するという目標に対して 10 年間で約 6.3%削減しており、おおむね順調に進捗している。

令和 8 年度の改訂作業では、既存の施設分類別計画の総合管理計画への反映、コストシミュレーションの実施による長寿命化対策の効果額の推計、実効性向上のための方策の検討などを進める。

今後は職員研修や庁内での協議を重ね、令和 8 年 12 月に計画案について議会に報告した後、パブリックコメントを経て改訂予定である。

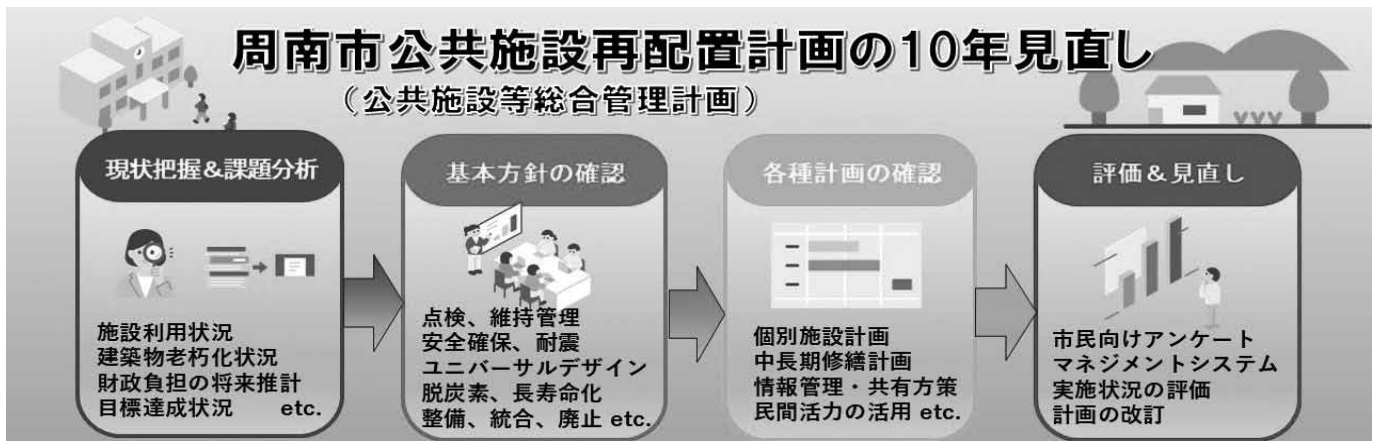
問 市民アンケート調査において、市民のニーズに合わなくなった施設を見直すべきとした意見がある中、市はどのような基準でニーズに合わなくなったと判断するのか。また、その施設の今後の方向性をどのように定めるのか。

答 各施設においては、管理運営の中で施設利用者とのコミュニケーションを通じてニーズを把握し、個別の維持管理計画で対応していく。一方で、総合管理計画は各施設の基本的な方針を定めるものであり、財源の確保など政策的展開を見据えた計画とすることが役割である。今後予定している 12 月の議会への報告に当たっては、

これらの点を明確に示せるよう、引き続き検討を重ねていく。

問 平成 27 年 8 月時点での公共建築物の施設数が 1,135 施設と 1,114 施設の 2 通りで記載されているのはなぜか。

答 平成 27 年 8 月に公共施設再配置計画を策定した際は、当時の基準で 1,135 施設とされていたが、令和 4 年 3 月に改訂した際に時点修正をしたため、1,114 施設と改めている。今後の計画策定に当たっては、市民に分かりやすく、理解が深まるような表現などに配慮していく。



新しい議会体制が決まりました。



議長 友田 秀明



副議長 佐々木 照彦



監査委員 小林 雄二

議長あいさつ

市民の皆さまには、平素より議会活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、周南市議会の第24代議長に就任させていただきましたことは誠に光栄であり、その重責に身の引き締まる思いであります。

現在、本市は「第3次周南市まちづくり総合計画」の下、人口減少への対応やカーボンニュートラルへの挑戦、防災力の強化やデジタル技術の活用など、激変する時代の潮流を的確に捉えながら、基本理念として掲げている「将来世代へ責任あるまちづくり」を進めているところです。世の中が大きな転換期を迎えている中、数々の課題を乗り越え、次なる時代へと力強く歩みを進めていける社会を市民の皆さまと共に築いていくことが、今まさに求められています。

このように社会が激しく変化する時代だからこそ、議会もまた、時代に即して進化していかなければなりません。昨年導入したタブレット端末による効率的な議会運営への取り組みも、私たちが率先して柔軟に変わっていく姿勢の表れでございます。

「和を以て貴しと為す」という言葉を胸に、任期である一年間、市民の皆さまの声を真摯^{しんし}に受け止め、行政と一体となって活発な議論を尽くす所存です。誰もが誇れる周南市の輝かしい未来を切り開くため、誠心誠意、全力を尽くしてまいります。

今後とも、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

周南市議会議長 友田 秀明

議員が兼ねる他の役職

監査委員

小林 雄二

周南地区衛生施設組合議会議員

有田 力

光地区消防組合議会議員

小林 正樹

周南地区福祉施設組合議会議員

西尾 孝夫 渡辺 君枝

都市計画審議会委員

井本 義朗 小池 一正
古賀 洋子 貞本 昌也
服部 恭弥

環境審議会委員

河井美和子 島津 幸男
西尾 孝夫 服部 恭弥
藤井 直子 吉安 新太

民生委員推薦会委員

河井美和子 古賀 洋子

常任委員会

企画総務委員会

担当事務：総務部、企画部、財政部、地域振興部、文化スポーツ観光部、会計管理者、ボートレース事業局、消防機関、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会および固定資産評価審査委員会の所管に属する事項ならびに他の常任委員会の所管に属さない事項

◎遠藤 伸一 ○貞本 昌也 青木 義雄
江崎加代子 小林 正樹 小林 雄二
島津 幸男 土屋 晴巳 福田 健吾
藤井 直子

教育福祉委員会

担当事務：福祉部、こども未来部、健康医療部および教育委員会の所管に属する事項

◎金子 優子 ○河井美和子 古賀 洋子
佐々木照彦 篠田裕二郎 西尾 孝夫
藤井 康弘 細田 憲司 渡辺 君枝

環境建設委員会

担当事務：環境生活部、産業振興部、建設部、都市整備部、上下水道局および農業委員会の所管に属する事項

◎山本 真吾 ○小池 一正 有田 力
井本 義朗 岩田 淳司 服部 恭弥
福田 文治 古谷 幸男 吉安 新太

予算決算委員会

担当事務：予算および決算に関する事項

◎藤井 康弘 ○小林 正樹 青木 義雄
江崎加代子 遠藤 伸一 河井美和子
古賀 洋子 貞本 昌也 島津 幸男
西尾 孝夫 服部 恭弥 藤井 直子
古谷 幸男 山本 真吾

議会広報委員会

担当事務：議会だよりの編集に関する事項、議会広報に関する事項

◎河井美和子 ○貞本 昌也 有田 力
小池 一正 福田 健吾 藤井 直子
吉安 新太

議会運営委員会

担当事務：議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する条例などに関する事項、議長の諮問に関する事項

◎古谷 幸男 ○岩田 淳司 青木 義雄
井本 義朗 遠藤 伸一 金子 優子
河井美和子 土屋 晴巳 西尾 孝夫
福田 健吾

特別委員会

議会改革特別委員会

特定事件：議会改革に関すること

◎井本 義朗 ○土屋 晴巳 青木 義雄
岩田 淳司 金子 優子 小池 一正
篠田裕二郎 島津 幸男 西尾 孝夫
福田 健吾 福田 文治 古谷 幸男
山本 真吾 渡辺 君枝

周南市市民館跡地の施設建設計画に関する調査特別委員会

特定事件：国の機関の集約化に関すること、文化小ホールの整備に関すること、保健センターなどの機能拡充に関すること、駐車場の整備に関すること、民間企業の参画に関すること

◎青木 義雄 ○小池 一正 井本 義朗
岩田 淳司 遠藤 伸一 河井美和子
小林 正樹 貞本 昌也 西尾 孝夫
福田 健吾 藤井 直子 藤井 康弘
古谷 幸男 吉安 新太

(◎は委員長、○は副委員長)

会派構成

(◎代表 ○副代表)
会派人数、結成年月日、
五十音順

志高会

◎岩田 淳司
○土屋 晴巳
古賀 洋子
服部 恭弥
福田 健吾
藤井 康弘
(6名)

市民の会

◎西尾 孝夫
○福田 文治
河井美和子
小林 雄二
(4名)

未来ラボ

◎井本 義朗
○山本 真吾
佐々木照彦
貞本 昌也
(4名)

自由民主党周南

◎古谷 幸男
○青木 義雄
有田 力
小林 正樹
篠田裕二郎
友田 秀明
(6名)

日本共産党

◎藤井 直子
○渡辺 君枝
(2名)

公明党

◎遠藤 伸一
○小池 一正
江崎加代子
金子 優子
(4名)

信進会

◎吉安 新太
○島津 幸男
(2名)

(会派に属さない議員)
細田 憲司

市議会からのお知らせ

■市議会のお知らせを市公式LINEから受け取れます！

より多くの皆さまに周南市議会について知っていただけるよう、このたび、市公式LINEでの配信を開始しました。市議会定例会の日程や議会だよりの発行など、市議会に関するお知らせをお届けします。ぜひ登録をお願いします。

【LINEの登録方法】

- ①右の二次元コードを読み取り、「周南市公式LINEアカウント」を友だち追加する。
- ②トーク画面下のメニューから「受信設定」をタップする。
- ③受け取りたい情報で「議会情報」を☑する。
※「全て」を選択した場合も「議会情報」が配信されます。



周南市公式LINE

■議会を傍聴しませんか

どなたでも議会を傍聴できます。本庁舎5階の議場傍聴席まで、ぜひお越しください。

■9月定例会の日程

令和8年9月定例会は、令和8年9月1日（火）から9月18日（金）までの18日間です。詳細につきましては、市議会ホームページの会議予定にてご確認ください。



周南市議会
トップページ

■インターネット議会中継

本会議の生中継と録画放送をインターネットで配信しています。

録画放送は、本会議の3～4日後から視聴できます。

※スマートフォンからも視聴できます。



インターネット
議会中継

■ケーブルテレビ議会中継

本会議の様子を生中継します。

一般質問については、CCS・メディアリンク・Kビジョンで再放送を行います。

（再々放送は、CCS・メディアリンクで放映）
委員会の様子は、2時間程度にまとめた番組を録画放送します。

（ケーブルテレビのみ）



ケーブルテレビ
放送日程

	インターネット	ケーブルテレビ
本会議 (生中継)	○	○
本会議 (録画放送)	○	△ (一般質問のみ)
委員会 (生中継)	放送はありません	
委員会 (要約放送)	放送はありません	○

議会広報委員会 委員紹介

今号から私たち7名が「議会だより」を編集いたします。



この新体制の下、市議会の活動を皆さまに分かりやすくお伝えできるよう、読みやすい紙面づくりに取り組みます。また、議会だよりに限らず多様な手段による情報発信を検討し、市議会をより身近に感じていただけるような広報活動に努めてまいります。

一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

後列：左から

有田 力委員、小池一正委員、藤井直子委員、
福田健吾委員、吉安新太委員

前列：左から

河井美和子委員長、貞本昌也副委員長